

卓球部OG 4人組

40年ぶり再結集、大会出場

還暦 絆いまでも

霧島・福山高卒



福山高校卓球部出身の同級生で結成する「わかみこレディース」
＝霧島市隼人

霧島市の福山高校卓球部出身で、今年還暦を迎えた女性4人組が、地元の卓球大会に出場し続けている。合計年齢240歳。高校生や社会人に負けず、青春時代さながらの活躍を見せている。

いずれも同市福山出身の中甫木敬子さん(60)、久保英子さん(60)、児島弘子さん(59)、中村ひとみさん(60)。現在は同市や鹿児島市、鹿屋市でそれぞれ仕事と主婦業を両立しながら、別々の社会人クラブで腕を磨いている。3年前、知人の勧め

もあり、高校卒業以来約40年ぶりに再結集。年1回だけ集まり、霧島市卓球大会(市卓球連盟主催)に出場している。チーム名は鹿児島湾奥の若尊鼻(わかみこ)から取り、「わかみこレディース」とした。

12日、隼人体育館であった大会には、高校生から70代まで市内外から約150人が参加。ユニホームを新調して試合に臨んだわかみこレディースは、6チームが出場した女子団体戦で初めて準優勝に輝いた。

「まさか再び一緒に卓球ができるなんて思わなかった。青春時代に戻ったよう」と語る4人。「卓球は生活の一部。体が動く限り、優勝できるまで頑張りたい」と意気込んだ。

(山下翔吾)